

カナダの金融市場動向 Weekly Report

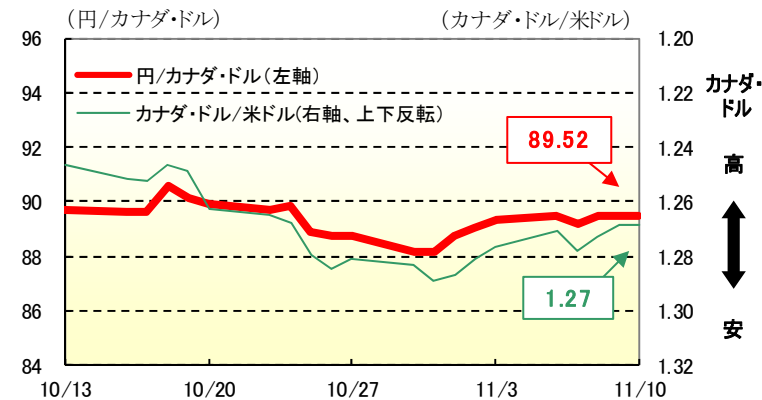
【2017年11月4日～2017年11月10日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円はほぼ横ばいで推移し、カナダ5年国債利回りは上昇しました。

先週、カナダでは特段重要な経済指標の発表はなく、米国の金利が上昇したことが、米国の金利動向に連れやすいカナダの金利上昇圧力となりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年10月13日～2017年11月10日)



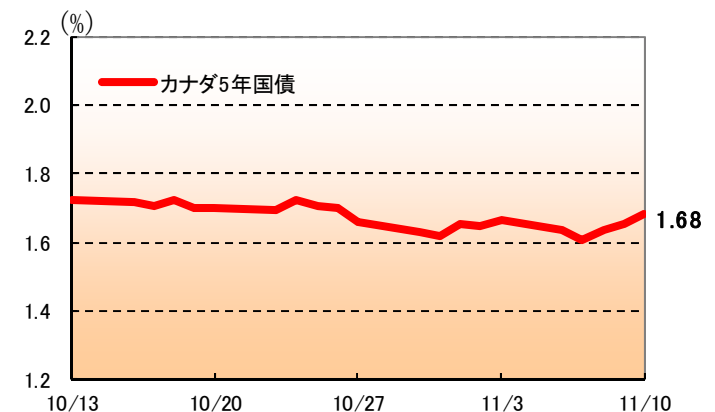
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

今週、カナダではCPI(消費者物価指数)、米国ではCPIや小売売上高の発表が予定されています。市場ではカナダのCPIは前月よりも伸びが鈍化することが予想されているため、市場予想以上の伸びとなれば、金利やカナダ・ドル円の上昇圧力が高まるとみえています。

また、米国でFRB(米国連邦準備制度理事会)高官の講演が予定されており、今後の米国の利上げペースに対する示唆など発言内容に注目が集まりそうです。

【カナダ 金利推移】 (2017年10月13日～2017年11月10日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>